



## 平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 東洋水産株式会社  
 コード番号 2875 URL <http://www.maruchan.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小畑 一雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 椿 博成 TEL 03-3458-5035  
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月13日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	87,866	12.8	7,799	15.0	8,253	14.6	6,729	88.1
25年3月期第1四半期	77,901	4.8	6,782	6.0	7,201	6.7	3,576	△3.0

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 10,065百万円 (407.3%) 25年3月期第1四半期 1,984百万円 (△26.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	65.88	—
25年3月期第1四半期	35.01	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	284,467	220,293	72.7
25年3月期	274,889	209,172	72.3

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 206,891百万円 25年3月期 198,684百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	20.00	—	30.00	50.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	25.00	—	25.00	50.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	177,000	11.8	14,000	4.4	15,000	6.9	9,000	21.3	88.10
通期	370,000	7.4	31,000	4.6	32,000	0.0	20,000	15.7	195.78

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年3月期1Q	110,881,044株	25年3月期	110,881,044株
26年3月期1Q	8,730,092株	25年3月期	8,724,975株
26年3月期1Q	102,152,701株	25年3月期1Q	102,162,589株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、震災復興需要や円高是正等各種政策の効果により、景気回復への期待は高まりつつありますが、海外景気の下ぶれ等景気を下押しするリスクも存在し、依然として先行きは不透明な状況となっております。

このような状況の中、当社グループは「Smiles for All. すべては、笑顔のために。」という企業スローガンの下で「食を通じて社会に貢献する」「お客様に安全で安心な食品とサービスを提供する」ことを責務と考え取り組むとともに、厳しい販売競争に対応するため、より一層のコスト削減並びに積極的な営業活動を推進してまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は87,866百万円（前年同四半期比12.8%増）、営業利益は7,799百万円（前年同四半期比15.0%増）、経常利益は8,253百万円（前年同四半期比14.6%増）、四半期純利益は6,729百万円（前年同四半期比88.1%増）となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間の為替換算レートは、98.58円/米ドル（前第1四半期連結累計期間は、79.28円/米ドル）であります。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

水産食品事業は、鮭鱒・魚卵・マグロ等主力商品を中心に量販店・コンビニ等に積極的に開発、販売を進めました。しかしながら、産地工場の水揚減少による稼働率の低下や、円安による原材料価格の上昇等のコスト増加により、売上高は8,149百万円（前年同四半期比1.1%増）、セグメント利益は17百万円（前年同四半期比78.7%減）となりました。

海外即席麺事業は、大手量販店との連携強化や、主力製品及び新カテゴリーのヤキソバ、ボウルの積極的な販売活動により、主に中米・南米を中心に販売数量が好調に推移したこと及び前期と比較した円安の影響により売上高は16,745百万円（前年同四半期比22.3%増）となりました。セグメント利益は、原材料コストの増加及び積極的な販促活動により販促促進費が増加しましたが、円安の影響により3,005百万円（前年同四半期比6.7%増）となりました。

国内即席麺事業は、カップ麺では基幹商品である「赤いきつねうどん」「緑のためぎ天そば」を中心とした和風麺シリーズの売上が、派生品の発売等により堅調に推移しました。また、「麺づくり」が昨年度末から実施した消費者キャンペーンや新フレーバーの発売が寄与し伸張しました。その結果、カップ麺全体では前年並みの結果となりました。袋麺では需要の拡大に応えられるように昨年度末にマルちゃん正麺の新ラインを設置し、4月に新アイテム「マルちゃん正麺 冷し中華」を発売したこと等により、大幅な増収となりました。その結果、売上高は28,270百万円（前年同四半期比13.3%増）、セグメント利益は3,042百万円（前年同四半期比27.2%増）となりました。

低温食品事業は、生麺では主力の3食焼そば類が順調に推移しました。生ラーメン類は競合品との価格競争により苦戦しましたが、春夏新製品の「ナポリタンスパゲッティ3人前」が引き続き好調だったことと、涼味商品類が堅調に推移したことにより生麺全体では前年を上回る結果となりました。冷凍食品類では市販用は苦戦しましたが、業務用冷凍麺は産業給食への積極的な販売活動や外食産業向けの新規商品投入による販路開拓により堅調に推移しました。その結果、売上高は16,180百万円（前年同四半期比2.8%増）となりました。セグメント利益は、原材料価格が安定したことや減価償却費の減少により927百万円（前年同四半期比11.0%増）となりました。

加工食品事業は、米飯は積極的な販売活動を行い増収となりました。フリーズドライ製品はカップ入りや袋入りの製品が好調に推移しました。魚肉ハムソーセージは、市場環境の変化に即し、卸売価格の改定を実施したことにより売上が減少しました。調味料はだしの素や削り節市場の縮小もあり減収となりました。その結果、売上高は4,156百万円（前年同四半期比0.9%増）となりましたが、原料米などの価格高騰もあり、セグメント損失は57百万円（前年同四半期はセグメント損失6百万円）となりました。

冷蔵事業は、円安等の影響もあり輸入品の取扱いが低調でしたが、積極的な集荷活動に取組んだ結果、売上高は3,934百万円（前年同四半期比4.2%増）となりました。セグメント利益は、電力料金の値上げによるコスト増加等もありましたが、新規受託品の増加等により409百万円（前年同四半期比5.4%増）となりました。

その他は、主に弁当・惣菜事業であります。売上高は10,432百万円（前年同四半期比38.1%増）、セグメント利益は505百万円（前年同四半期比3.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末と比べ総資産は9,578百万円増加し284,467百万円、純資産は11,121百万円増加し220,293百万円となりました。この主な変動要因は、以下のとおりであります。

資産は、現金及び預金、受取手形及び売掛金、建設仮勘定が増加し、有価証券が減少しました。負債は、主に支払手形及び買掛金が増加し、未払費用、未払法人税等が減少しました。純資産は、主に利益剰余金、為替換算調整勘定が増加しました。

この結果、自己資本比率は72.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に関する事項につきましては、当第1四半期連結累計期間の業績が想定していた範囲内で推移しているため、平成25年5月15日に発表しました見通しを変更しておりません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	50,496	68,762
受取手形及び売掛金	45,948	48,749
有価証券	27,501	8,501
商品及び製品	15,355	15,626
仕掛品	223	470
原材料及び貯蔵品	4,596	5,342
繰延税金資産	1,737	1,337
その他	4,010	3,138
貸倒引当金	△507	△522
流動資産合計	149,361	151,406
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	43,724	43,820
機械装置及び運搬具(純額)	24,489	24,768
土地	28,995	30,191
建設仮勘定	3,633	8,240
その他(純額)	1,419	1,647
有形固定資産合計	102,262	108,668
無形固定資産		
その他	2,349	2,484
無形固定資産合計	2,349	2,484
投資その他の資産		
投資有価証券	18,385	19,154
繰延税金資産	1,818	1,954
その他	711	799
投資その他の資産合計	20,915	21,908
固定資産合計	125,527	133,061
資産合計	274,889	284,467

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,711	23,417
短期借入金	212	201
1年内返済予定の長期借入金	—	132
未払費用	17,705	16,533
未払法人税等	4,108	2,019
未払事業所税	62	13
未払消費税等	554	655
繰延税金負債	3	3
役員賞与引当金	198	62
固定資産撤去費用引当金	171	112
その他	2,437	1,874
流動負債合計	47,167	45,026
固定負債		
長期借入金	—	90
繰延税金負債	1,177	1,255
退職給付引当金	16,232	16,383
役員退職慰労引当金	140	237
負ののれん	225	187
資産除去債務	309	315
その他	465	679
固定負債合計	18,550	19,147
負債合計	65,717	64,174
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	18,969	18,969
資本剰余金	22,516	22,516
利益剰余金	171,246	176,264
自己株式	△8,145	△8,162
株主資本合計	204,586	209,588
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,185	2,632
繰延ヘッジ損益	32	31
為替換算調整勘定	△8,120	△5,361
その他の包括利益累計額合計	△5,902	△2,696
少数株主持分	10,487	13,402
純資産合計	209,172	220,293
負債純資産合計	274,889	284,467

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	77,901	87,866
売上原価	48,923	54,189
売上総利益	28,978	33,677
販売費及び一般管理費	22,196	25,878
営業利益	6,782	7,799
営業外収益		
受取利息	64	69
受取配当金	153	176
持分法による投資利益	—	7
賃貸収入	102	112
雑収入	206	150
営業外収益合計	527	516
営業外費用		
支払利息	0	1
賃貸収入原価	19	25
為替差損	27	6
持分法による投資損失	1	—
雑損失	59	29
営業外費用合計	108	62
経常利益	7,201	8,253
特別利益		
固定資産売却益	1	1
負ののれん発生益	—	641
補助金収入	—	1,192
受取補償金	21	—
その他	2	25
特別利益合計	25	1,860
特別損失		
固定資産除売却損	40	18
投資有価証券評価損	368	8
その他	12	0
特別損失合計	422	26
税金等調整前四半期純利益	6,804	10,087
法人税、住民税及び事業税	2,776	2,634
法人税等調整額	333	590
法人税等合計	3,110	3,224
少数株主損益調整前四半期純利益	3,694	6,862
少数株主利益	117	133
四半期純利益	3,576	6,729

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,694	6,862
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△67	426
繰延ヘッジ損益	△141	△0
為替換算調整勘定	△1,498	2,759
持分法適用会社に対する持分相当額	△3	18
その他の包括利益合計	△1,710	3,202
四半期包括利益	1,984	10,065
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,884	9,934
少数株主に係る四半期包括利益	99	130

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結財務 諸表 計上額 (注) 3
	水産食品 事業	海外即席 麺事業	国内即席 麺事業	低温食品 事業	加工食品 事業	冷蔵事業	計				
売上高											
外部顧客への売上高	8,062	13,689	24,958	15,735	4,119	3,774	70,340	7,551	77,891	10	77,901
セグメント間の内部 売上高又は振替高	179	—	0	—	0	243	423	138	561	△561	—
計	8,241	13,689	24,958	15,735	4,119	4,018	70,763	7,689	78,453	△551	77,901
セグメント利益 又は損失(△)	81	2,816	2,392	834	△6	388	6,507	489	6,997	△215	6,782

(注) 1 その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に弁当・惣菜事業及び不動産賃貸事業であります。

2 外部顧客への売上高の調整額10百万円は、報告セグメントと四半期連結財務諸表で取引高消去の方法が異なることにより発生した差異であります。セグメント利益又は損失の調整額△215百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△306百万円、棚卸資産の調整額3百万円及びその他の調整額87百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。その他の調整額は、主に決算時における海外子会社との取引高消去に伴う為替換算によって生じた換算差額であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結財務 諸表 計上額 (注) 3
	水産食品 事業	海外即席 麺事業	国内即席 麺事業	低温食品 事業	加工食品 事業	冷蔵事業	計				
売上高											
外部顧客への売上高	8,149	16,745	28,270	16,180	4,156	3,934	77,437	10,432	87,869	△3	87,866
セグメント間の内部 売上高又は振替高	174	—	0	—	0	231	406	127	534	△534	—
計	8,324	16,745	28,270	16,180	4,156	4,166	77,843	10,560	88,404	△537	87,866
セグメント利益 又は損失(△)	17	3,005	3,042	927	△57	409	7,345	505	7,850	△51	7,799

(注) 1 その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に弁当・惣菜事業であります。

2 外部顧客への売上高の調整額△3百万円は、報告セグメントと四半期連結財務諸表で取引高消去の方法が異なることにより発生した差異であります。セグメント利益又は損失の調整額△51百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△131百万円、棚卸資産の調整額57百万円及びその他の調整額22百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。その他の調整額は、主に決算時における海外子会社との取引高消去に伴う為替換算によって生じた換算差額であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。